農地利用最適化推進委員の応募者の情報　※経歴や応募・推薦理由は、提出書類（推薦書・申込書）を要約して掲載しています。　令和8年10月16日 時点

第１地区　区域：春日部・豊春・武里　定数：６

番号	推薦・応募の別	候補者								推薦者							農業委員への応募の有無
		氏名	職業	年齢	性別	経歴	地区名	農業経営の状況		個人の場合		団体の場合				応募・推薦の理由	
										推薦者名	年齢	代表者氏名	構成員数	構成員たる資格	事業内容		
1	自薦応募	中村勝利	農業	67	男	昭和62年4月～埼玉県職員として勤務、令和7年4月～自治会会長、令和6年11月～土地改良区総代、令和7年4月～農地利用最適化推進委員	第１地区	従事年数	46年							市内武里地区で40年以上農業に従事し、令和7年から薄谷地区自治会の会長として地域活動にも参加してきました。これからの農業は、農業従事者の減少から農地の集約と大規模化や、ＡＩやロボットの活用等、生産性を向上させることが必要です。今までの農業経験を活かし、地域農業の発展に貢献していきたいと考え応募しました。	有
								主な作付作物	水稲 野菜 果樹								
								耕作農地面積	97 アール								
2	団体推薦	齋藤　栄	農業自営	74	男	高校卒業後、昭和46年4月農業従事（自営）、平成2年～平成18年有限会社設立代表取締役、平成25年１月土地改良区総代選任、令和7年4月土地改良区理事選任	第１地区	従事年数	55年			見沼代用水土地改良区理事長坪井茂	18,251人	土地改良区の地区内にある農用地について、所有権または耕作権等を有する者	土地改良法に基づき、農業生産の基盤を維持し、地域の農業と環境を守る	土地改良区の運営をはじめ、農業用水施設の維持管理や地域農業の振興に積極的に携わっています。また、自ら有限会社を設立・運営するなど幅広い視野と優れた経営感覚を培ってこられました。こうした経験を通た豊富な知識と経験に加え、事業経営者として、公平・公正な判断力と高い責任感を兼ね備えています。地域農業の振興と適正な農地行政の推進に大きく貢献できる人物であると認め推薦します。	有
								主な作付作物	水稲								
								耕作農地面積	141.7 アール								
3	団体推薦	森田　仁	農業	40	男	大学卒業後、平成20年4月農業従事開始、平成20年～現在春日部市梨組合及び産直の里所属	第１地区	従事年数	20年			産直の里内牧協議会田口修由	17人	農業従事者	地域の特性を生かし、農産物の直売方式及び観光型農業の確立を図る	市内で20年間農業を営みながら、春日部市4Hクラブの会長を務め、本年より産直の里内牧協議会の会計に就任しております。近年梨組合で開催した立毛共進会にて市長賞を授与し、梨栽培で優秀な技術を有しております。このような将来を嘱望されている人物である為、推進委員として最適任であると認め推薦するものです。	無
								主な作付作物	梨 キウイ 水稲								
								耕作農地面積	140 アール								
4	自薦応募	朝倉廣司	農業	78	男	令和2年12月～農地利用最適化推進委員として2期目	第１地区	従事年数	40年							40年以上の農業経験と約6年間の推進委員の実績があります。 この経験を活かし、地域計画の策定や農地の集約化など、持続可能な農業の形成に貢献したく応募いたします。	無
								主な作付作物	水稲								
								耕作農地面積	10 アール								
5	自薦応募	濱野國雄	農業	84	男	高校卒業後、昭和35年4月農林水産省関東農政局入省、昭和35年10月農業従事開始、平成14年3月農林水産省定年退職、平成15年6月農業委員会委員就任、平成16年12月～平成28年11月(4期12年）民生・児童委員就任、平成25年4月～令和7年3月（12年）開発事業審査会委員就任、平成29年12月～農地利用最適化推進委員就任	第１地区	従事年数	65年									農業（農地）を取り巻く情勢は、農業従事者の高齢化や担い手不足による遊休農地や耕作放棄地の増加が想定される中で、これに係る者から意向を精査の上、改善に導き農地の有効利用を進めたい。	無
								主な作付作物	水稲								
								耕作農地面積	90 アール								
6	自薦応募	小谷野隆光	自営業	65	男	高校卒業後、昭和55年4月信用金庫入社、平成8年7月～平成20年7月株式会社入社、平成25年1月農業従事開始、平成30年4月南中曽根自治会副会長着任	第１地区	従事年数	14年							平成25年1月より農業（水稲）を営み始めました。また、自治会活動を行うにあたり休耕地の問題に対して積極的に向き合い作付面積を増やして、市の農業振興課や中間管理機構と協力しながら問題解決に務めてきましたが、個人的活動には限界があることがわかり今回の応募に至りました。	無
								主な作付作物	水稲								
								耕作農地面積	160 アール								

農地利用最適化推進委員の応募者の情報　※経歴や応募・推薦理由は、提出書類（推薦書・申込書）を要約して掲載しています。　令和8年10月16日 時点

第２地区　区域：幸松・豊野　定数：４

番号	推薦・応募の別	候補者								推薦者							農業委員への応募の有無
		氏名	職業	年齢	性別	経歴	地区名	農業経営の状況		個人の場合		団体の場合				応募・推薦の理由	
										推薦者名	年齢	代表者氏名	構成員数	構成員たる資格	事業内容		
1	自薦応募	関根　栄	農業	66	男	高校卒業後、昭和54年～農業従事開始、平成10年神社総代着任、平成14年自治会副会長及び安全協会着任、平成17年防犯協会着任、平成20年神社総代着任、令和5年農地利用最適化推進委員、令和7年農業施設管理組合総代	第２地区	従事年数	48年							高校卒業以来農業に携わるとともに、自治会役員や神社総代を務め地域との絆を深めてきました。令和5年からの推進委員としての3年間を通じ、地域の農地を守る重要性を再認識しております。今後も長年の農業経験と地域のネットワークを最大限に活かし、担い手不足や遊休農地の解消といった課題解決に尽力したく、再度応募いたしました。	無
								主な作付作物	いも類、果菜類多品目作物								
								耕作農地面積	10アール								
2	団体推薦	大塚一男	農業	71	男	昭和49年4月農業従事開始	第２地区	従事年数	52年			赤沼自治会中村勝見	229人		良好な近隣関係と課題解決で住みよいまちを創る活動	推進委員の経験に加え、土地改良区や自治会の役員として長年地域農業に貢献しており、最適任として推薦します。	無
								主な作付作物	水稲								
								耕作農地面積	70アール								
3	自薦応募	岩本利夫	農業	74	男	大学卒業後、昭和50年4月～平成24年3月小学校教員、平成14年3月農業従事開始、平成25年4月～平成31年3月向島地区長、令和元年12月～民生委員・児童委員、令和4年4月～交通指導員、令和5年12月～農地利用最適化推進委員	第２地区	従事年数	24年							大学卒業後、近隣の小学校に勤務する傍ら、農業をずっと手伝ってきた。平成14年から野菜作りに励み、平成24年3月に教員を退職後、作り方を工夫したり、種類を増やしたり等取り組んできた。向島地区長を6年間務め、民生委員（現在3期目）、幸松小学校正門前での交通指導員（現在4年目）として活動しており、地域の実情を把握し地域の信頼も得ていると自負している。令和5年12月より推進委員として農業委員と連携し農地等の利用の最適化に向けた活動を行ってきた。3年間の活動を活かし不十分だった点を補いさらに続けていきたいので今回応募した。	無
								主な作付作物	野菜								
								耕作農地面積	50アール								
4	自薦応募	小川　優	農業	65	男	高校卒業後、昭和56年4月～農業従事開始、令和3年12月～農地利用最適化推進委員	第２地区	従事年数	45年							20代より農業を営みながら自治会の活動に携わり、地域にも多少たりとも貢献してきました。水田の耕作も頼まれるようになり、自作地の数倍の借地になりました。条件の良くない田もありますが、誰かが耕作しなければ荒れてしまうので引き受けています。	無
								主な作付作物	水稲野菜								
								耕作農地面積	180アール								

農地利用最適化推進委員の応募者の情報　※経歴や応募・推薦理由は、提出書類（推薦書・申込書）を要約して掲載しています。　令和8年10月16日 時点

第３地区　区域：川辺・南桜井　定数：４

番号	推薦・応募の別	候補者								推薦者							農業委員への応募の有無
		氏名	職業	年齢	性別	経歴	地区名	農業経営の状況		個人の場合		団体の場合				応募・推薦の理由	
										推薦者名	年齢	代表者氏名	構成員数	構成員たる資格	事業内容		
1	個人推薦	会田幸藏	農業	73	男	平成23年～平成26年農業委員	第３地区	従事年数	42年	澤田英雄	76					温厚で実直、神社役員などの活動実績、畑作ハウス農業に熱意、過去に農業委員を歴任しており適任である。	無
								主な作付作物	水稲、ホウレン草	小川　清	74						
								耕作農地面積	220アール	中井　訓	71						
2	個人推薦	鈴木幸夫	自営	63	男	高校卒業後、昭和58年～農業従事開始、昭和58年～農協勤務、平成5年～株式会社勤務、平成19年～自営業、平成29年～令和元年上柳自治会会計	第３地区	従事年数	40年	石井　茂	79					自治会では会計として地域運営に携わり、住民から厚い信頼を得ている。また、後継者のいない農家の田畑を積極的に借り受け、遊休農地の解消に努めるなど、地域の農地保全と有効活用に大きく貢献している。さらに、地域の人々との協調を重んじ、若手農業者への助言や地域行事への参加など、地域社会の絆を深める活動にも積極的である。	無
								主な作付作物	稲作	野口晴男	70						
								耕作農地面積	660アール	鈴木良幸	64						
3	自薦応募	中井　訓	農業	71	男	大学卒業後、昭和52年4月株式会社勤務、平成28年4月農業従事開始、令和3年4月～自治会長および農家組合長着任、令和5年農地利用最適化推進委員	第３地区	従事年数	13年							私は農業を営みながら自治会長・農家組合長を務めてきました。数年来より農家を取り巻く環境は担い手がいない、未耕作地、農地の売却等課題が多いです。今後は、遊休農地の解消に向けて、農業者・非農業者・地域住民との会話をより一層実施し、春日部市の農業振興に努めたいと考え応募いたします。尚、推進委員の選出にあたり第３地区の区長の了解を得ています。	無
								主な作付作物	水稲野菜								
								耕作農地面積	120アール								
4	団体推薦	中田　猛	農業	76	男	高校卒業後、昭和44年4月～平成19年4月信用金庫勤務、平成23年12月～平成29年11月農業委員会委員、平成27年5月金崎区執行部入部、令和4年4月～令和8年3月金崎区長着任	第３地区	従事年数	20年			金崎区長石崎純一	232人	区内に住居を有する世帯及び事業所	区加入者の相互の親睦と防災、防犯、生活環境の向上など、安心、安全で豊かな地域コミュニティの形成を図ることを目的とする。	永年にわたり、金崎区内の農業振興に努力し、農業委員を務めた実績もあります。また、金崎区の区長を永年務めた他、多面的事業による地域農業施設の維持管理や、環境整備に努力するなど地域への貢献が多大であり、信頼に足りる人物であるため、農地利用最適化推進委員へ推薦します。	無
								主な作付作物	野菜								
								耕作農地面積	5.188アール								

農地利用最適化推進委員の応募者の情報　※経歴や応募・推薦理由は、提出書類（推薦書・申込書）を要約して掲載しています。　令和8年10月16日 時点

第４地区　区域：冨多・宝珠花・桜井　定数：４

番号	推薦・応募の別	候補者								推薦者							農業委員への応募の有無
		氏名	職業	年齢	性別	経歴	地区名	農業経営の状況		個人の場合		団体の場合				応募・推薦の理由	
										推薦者名	年齢	代表者氏名	構成員数	構成員たる資格	事業内容		
1	自薦応募	横井三夫	農業	72	男	大学卒業後、昭和50年4月～公立学校教諭、教頭、校長、平成26年4月～令和2年3月市教育委員会等勤務、平成27年4月～自治会会計、平成29年4月～副区長、令和2年4月～令和4年3月区長、令和5年農地利用最適化推進委員	第4地区	従事年数	52年							農業を営みながら農家組合長等を務める中で、担い手不足や遊休農地等の課題に直面してきた。これまでの農地集約や環境保全に向けた活動経験を活かし、地域住民との対話を通じて本市の農業振興に尽力したい。	無
								主な作付作物	水稲 なす きゅうり								
								耕作農地面積	260 アール								
2	団体推薦	齋藤　昇	農業	73	男	高校卒業後、昭和47年4月農業従事開始、令和2年4月～令和4年3月区長、令和6年農地利用最適化推進委員、令和8年4月～西親野井水と緑の里を守る会会長着任	第4地区	従事年数	54年			西親野井区 古川好宏	56人	西親野井区に在住であり、当該区の会員であること	地域農業を推進すること	長年に亘り農業を営み区長として自治会をまとめ、会員からの信頼もあり、西親野井地区に欠かすことの出来ない人物です。本年度、西親野井地区で「水と緑の里を守る会」の会長となり、会をまとめながら、地域農業に対し、深い愛情を持って、実践しています。地域への貢献度は多大であり、推進委員としてふさわしい人物として推薦します。	無
								主な作付作物	野菜全般								
								耕作農地面積	100 アール								
3	自薦応募	金子正之	農家	69	男	高校卒業後、昭和52年4月～平成30年3月市消防本部勤務、令和5年～農地利用最適化推進委員	第4地区	従事年数	39年							私は市内で約39年間、専業として農業を営みながら、現在推進委員として3年が経過します。推進委員として、今後も地域活動に貢献したいと思って応募しました。	無
								主な作付作物	水稲								
								耕作農地面積	880 アール								
4	自薦応募	上原剛雄	農家	70	男	高校卒業後、昭和50年4月市消防署入署、令和元年農業従事開始、令和5年～農地利用最適化推進委員	第4地区	従事年数	7年							令和5年から推進委員として活動してきました。推進委員として活動していく中で、農業者の相談を受けながら地域の一助になればと思い応募しました。	無
								主な作付作物	水稲								
								耕作農地面積	180 アール								